



心と体の健康づくり ひかわスポーツクラブだより!!

教室情報

骨盤体操・ヨガ教室(対象:中学生以上)

- ◆日程: 7月2日(土)、9日(土)
- ◆時間: 骨盤体操9時30分から10時20分
ヨガ10時30分~12時
- ◆会場: 氷川町公民館和室
- ◆費用: 各教室 1,000円
セット割り1,700円

7月の教室変更情報

バドミントン

- ◆会場: 氷川中学校体育館
- ◆時間: 19時30分から21時

カラオケ教室

- ◆会場: 先生自宅
文化センターの利用可能になり
次第会場変更

子どもスポーツ教室(対象:年少~小3)

- ◆日程: 7月10日(日)、24日(日)
- ◆時間: 10時~11時30分
- ◆会場: すぱーく竜北
- ◆費用: クラブ会員無料
会員外500円



※最新情報はひかわスポーツクラブで検索!

夏本番に向けていかがお過ごしでしょうか。熱中症が流行りだします。こまめな水分補給と共にミネラルの補給が大事になります。地域の皆さまが元気で活力ある生活を送れる様、ひかわスポーツクラブはサポートしていきます。



融和・健康・地域の元気づく

氷川町文化センター内 ひかわスポーツクラブ事務所
☎:52-5860 FAX:52-7060 齋藤・稲本
【お問い合わせ先】
クラブの取組は公式facebookより 『ひかわスポーツクラブ』で検索

新刊図書

一般書	児童書
「大橋鎮子さんが教えてくれたていねいな暮らし」 (洋泉社編集部)	「くつの音が」 (あさの あつこ)
「ボイスドクター・ホーリーマーザー」 (湊 かなえ)	「小学生からはじめるわくわくプログラミング」 (阿部 和広)
「あかちゃんとお子どものアレルギー&アトピー」 (永倉 俊和)	「おしゃれコーティネーター」 (石崎 なおこ)
「これからを生きるあなたに伝えたいこと」 (美輪明宏 瀬戸内寂聴)	「弥生時代のサバイバル」 (河合 敦:監修)
「図解 わかる年金」 (中村 幸村)	「ここで土になる」 (大西 暢夫)
「カツオが磯野家を片づける日」 (渡部 亜矢)	
「ボケない暮らし30カ条」 (朝田 隆)	
「Seriaでかなえるときめき収納&インテリア」 (Como)	

雨の日は読書で 爽やかに過ごしましょう。

八火図書館だより



現在、町内の小学校では「校内児童発表会」が行われています。八火図書館では親子や友だち同志で『どれにしようか』『覚えるのむづかしいかな。』と選んでいる姿を見かけます。予選は、学級、学年と進み低学年、中学年、高学年の部のそれぞれ一人が小学校代表として夏休みに開催される八代郡児童発表会に出場となります。

低学年で5分、中・高学年で7分のお話を覚えて発表することは、学校や家庭での声掛けが励みとなります。八火図書館ではたくさんのお話を聴いて皆さんを応援します。夏休みは、長いお話の読書に挑戦しませんか。

開館時間
平日 10時~18時 木曜日 10時~20時
土日曜 10時~17時
休館日
月曜・祝日
貸出冊数
図書5冊:2週間 雑誌2冊:5日
※詳しくはスタッフにお尋ねください。

【お問い合わせ先】
八火図書館 ☎62-3489 FAX 62-3491
http://www.hikawa-lib.jp/info/hakka/



サモア独立国

南太平洋の島国でウポロ島とサバイイ島という2つの大きな島などで構成されています。世界で最も早く日付が変わる国の一つです。

公用語: サモア語、英語
首都: アピア
面積: 2,944km²(東京都の約1.3倍)
人口: 179,000人(2008年統計)



サモアで小学校の理科と算数の教育向上を支援
松浦 伸哉さん(西網道)

サモアの中小高等学校では理科・算数の理解度不足が共通問題とされています。

また、基礎計算を十分に理解しないまま小学校を卒業する生徒が多く、その過程を経た教師の指導力不足も問題となっています。

松浦さんは、現地の担任教師と共に授業を行い、教師に効果的な教授法を助言することで、現地教師の理数科能力改善と生徒の学力向上を支援されています。



2年間を振り返って
タロファアラバ!今回でサモアからの活動報告も最後となりました。長いようでも2年間の生活も終わりを迎えます。職場の同僚や生徒たちとの関わり方に悩み、辛い時期もありましたが、

そんな私を救ってくれたのも私の周りにいたサモア人たちでした。彼らの明るさや笑顔に何度救われたことでしょうか。心から大好きだと言える人たちがばかりです。この機会に、私が見てきたサモアファミリーの素晴らしさを少しでも伝えることができたかなと思います。

「ワンワン」動物たちの鳴き声で目覚める毎日。ここサモアでは、目覚まし時計は必要ないかも知れません。空が明るくなるのに合わせて、サモア人の1日が始まります。子どもたちは、目が覚めると寝床を片付け、昨夜使った食器の洗い物をしたり、家の周りのゴミ拾いをしたりします。大人たちは、朝のティーの準備をし、長い1日に備えます。

サモアの「アインガ」

「コケッココー」、「プヒビヒ」、「ワンワン」動物たちの鳴き声で目覚める毎日。ここサモアでは、目覚まし時計は必要ないかも知れません。空が明るくなるのに合わせて、サモア人の1日が始まります。子どもたちは、目が覚めると寝床を片付け、昨夜使った食器の洗い物をしたり、家の周りのゴミ拾いをしたりします。大人たちは、朝のティーの準備をし、長い1日に備えます。



海外に飛び立ち活躍
JICA海外ボランティアからの活動報告
一昨年7月から青年海外協力隊としてサモア独立国に派遣されている、氷川町出身の松浦伸哉さん(西網道)から最後の活動報告が届きました。